

# 平成27年度 社会福祉法人 桐生会

## 高齢者総合福祉施設 桐生園 事業報告

### 【事業総括】

平成27年度の介護報酬改定は、介護保険料の上昇の抑制、介護サービスの利用者負担の軽減や介護職員の給与の引き上げなどを踏まえ、全体で表面上はマイナス2.27%となっているが、内容は施設に付与することのできない介護職員処遇改善金のプラス1.65%が盛りこまれたもので、実際の報酬の適正化としてはマイナス3.92%という大変厳しいものとなった。

施設の経営面から考え、今まで以上の介護報酬を得るため、施設サービス部では毎週火曜日に実施している施設部ミーティングで、各職種が集まり入居者の徹底した健康管理を行うことにより入院者の減少を図ると共に、見取り介護の積極的な取り組みによる入居率の向上に努めた。在宅サービス部では各事業所とも利用者数の増加を図るため、各居宅事業所に対し、桐生園の特徴あるケアや空き状況の情報発信で稼働率の向上に努めた。

平成27年度実施した事業の主なものについて述べる。

#### 1. 信頼される施設の構築

入居者や利用者が安全に安心して暮らせる居場所にするには、職員の誰もが入居者や利用者のことを同じように理解し、尊厳を重視した統一のあるケアができることである。そのためには更なる情報の共有を図るため個別援助計画書を充実させることに取り組みした。リスクマネジメントについて、事故報告書件数は前年比14%減少（811件→700件）できたが、ヒヤリハット報告書件数は前年比24%減少（2435件→1849件）した。再度ヒヤリハットに対する意識の向上を促すことが課題となった。

#### 2. 思いやりのある計画と実践

ケアプランと個別援助計画書の整合性を高めるため、ケアマネと各担当者は情報交換を行い、その人らしい暮らしを支えるケアはどうあるべきかを常に考えながら計画を整えた。その計画を実践して家族にも説明しているが、記録面についてはケアプランでやるべき介護とできる介護とは相違することの理解が混同しており、できる範囲でのケアプランと実施するサービスの記録の重要性が今後の課題となった。

#### 3. 人材の確保と育成

人材の確保の手段として、県社協主催の「福祉のお仕事 就職フェア」への参加、福祉系大学を中心とした大学訪問、マイナビ、ハローワーク求人登録をはじめ、従来の新聞折り込みだけでなく幅広い層の目に留まるようフリーペーパー、ネット媒体を積極的に活用した。

桐生園ホームページをリニューアルし、採用情報やエントリーしやすい工夫を行った。

また、27年度は特養に初めて言語聴覚士を採用し、訪問歯科と連携し嚥下機能訓練等を充実させ、デイサービスセンターには理学療法士を採用し機能訓練、居宅訪問を充実させた。

教育については、県社協、介護福祉士会等が主催する外部研修に101回の研修会に159名が参加した。施設内研修は年間研修計画に基づき、毎月1回12回開催し、参加者延べ570名、1回開催平均47.5名の参加であるが、平成26年度に比べ参加者数168名は減少している。ど

のような形で開催すれば、多くの職員が参加出来るかは大きな課題である。

ブラザーシスター制度の活用は、新人職員の定着だけではなく、先輩職員にとっても大きな糧になるとの感想が得られた。

## 【施設サービス部】

### ◆特別養護老人ホーム

平成 27 年度重点をおいて取り組んだことは、次の 3 点である。

「個別援助計画に基づく記録の充実」については、平成 26 年度に充実させた個別援助計画、ケアプランを実施し、記録することを全ての職員が適切に行えることに取り組んだ。職員間で記録記載に差があることは否めない状態であることから、次年度も引き続き記録を充実させるために研修に取り入れたいと考える。

「健康管理、入居率の向上」について、安心安全な施設の構築に向け、週に一度の施設部ミーティングを通じ、入居者の日々の健康管理対策と情報の共有と実践に取り組んだ。その結果、受診者・入院者は減少し、入居率の向上を見る事が出来た。また、安全な施設の構築では、リスクマネジメント委員会を中心に取り組んだ。各部署では多職種での事故報告書による事故後の検証やヒヤリハット報告書の記載内容については力を入れた。

「看取り介護」については、12 名の方を施設で看取らせていただいた。各職種の役割は明確に出来たが、看取り意向の確認やタイミングについては入居者・入院者ともに検討が必要である。

・利用状況…平成 28 年 3 月末現在（定員 144 名）

1. 入居者数 144 名（男性 22 名・女性 122 名）

2. 入居者年齢構成	64～74 歳	16 名	最高齢者	106 歳（女性）
	75～89 歳	75 名	最年少者	63 歳（男性）
	90 歳以上	53 名	平均年齢	86.7 歳

3. 新規入居者数 40 名

（入居前状況：在宅 15 名、病院 9 名、老健施設 8 名、その他 8 名）

4. 退居者数 39 名

（退居後状況：死亡 28 名、長期入院 9 名、その他 2 名）

5. 平均在園期間…2 年 9 カ月 ・最長在園期間…34 年 4 ヶ月（女性）

## 6. 入居者数

### 【多床室】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実入居者数	94	99	99	99	101	97	102	102	99	100	100	100	
延べ入居者数	2,845	2,941	2,880	3,028	2,988	2,848	3,011	2,844	2,972	3,003	2,761	3,003	35,124
1日平均入居者数	94.8	94.8	96.0	97.6	96.3	94.9	97.1	94.8	95.8	96.8	95.2	96.8	95.9
稼働率(%)												95.9%	

### 【個室】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実入居者数	43	45	43	41	45	44	45	44	44	44	45	44	
延べ入居者数	1,246	1,316	1,201	1,257	1,317	1,310	1,255	1,196	1,234	1,292	1,225	1,304	15,348
1日平均入居者数	43.2	42.4	40.0	40.5	42.4	43.6	40.4	41.4	43.0	41.6	42.2	42.2	41.8
稼働率(%)												95.0%	

## 7. 要介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
多床室	4	4	28	34	30	100	3.8
個室	4	2	11	15	12	44	3.7

## 8. クラブ活動

民謡・唱歌・紙芝居・生花の会・書道・音楽体操

## 9. 諸行事

新年会                      節分会                      ひな祭り                      お花見                      端午の節句  
 バーベキュー大会                      七夕祭り                      夏まつり（盆踊り大会）  
 お盆法要                      敬老祝賀会                      彼岸法要                      秋の味覚会  
 クリスマス会忘年会                      餅つき大会

10. ボランティア来園数： 227 件      1065 名  
 内 訳      クラブ指導      175 件      432 名      屋内外作業      14 件      68 名  
                     演 芸 他      38 件      565 名

## 11. 実習受入数

実習受入先      華頂社会福祉専門学校・龍谷大学・龍谷大学短期大学部・綾羽高校  
 大津赤十字看護学校・滋賀県立総合保健専門学校・京都医療福祉専門学校  
 ユウコム総合学院・滋賀県シルバー人材センター

実習受入延数                      267 名

実習受入実人数                      26 名

◆ショートステイ

ショートステイにおけるケアサービスの充実にむけて、短期入所生活介護計画の作成と充実、また計画に添ったケアに取り組んだ。活動性向上を目的に外出企画を積極的におこなうことで、利用者はもとより利用者家族からも高評価を得られた。各居宅支援事業所へ積極的に取り組みをPRし働きかけを行うとともに、家族介護者の方に積極的に情報伝達することできめ細やかなケアにより、新規利用者確保や利用者のリピート率を高める事に努めた。

・利用状況（定員 13 名※空床利用含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平均要介護度	2.67	2.72	2.72	2.70	2.63	2.69	2.74	2.70	2.70	2.70	2.69	2.73	2.70
実利用人数計	51	50	50	50	49	45	46	47	46	41	42	44	561
延べ利用人数計	367	403	375	374	352	337	337	355	372	349	362	343	4,418
一日平均利用人数	12.2	13.0	12.5	12.2	12.1	11.7	10.9	11.8	12.4	11.3	12.5	12.7	12.1
新規利用者数	3	1	2	1	1	1	1	3	1	3	1	1	19
稼働率(%)												92.7 %	

【在宅サービス部】

◆デイサービスセンター

デイサービスセンター内でのご利用者の動作全てを生活上のリハビリと捉え、ご利用者の残存機能を引き出すようアプローチし、健康のまま在宅生活が送れるよう機能訓練や体操を継続し、身体機能の減退を防止する事が出来た。新規利用者獲得に向けての取り組みは、各地域のシニアクラブなどとの「体操デイサービス」の継続と地域のシニアサロンに認知症予防や下肢筋力低下を予防する「体操」を行うために参加し、当園のPRに取り組み各地域との関係性を深めることが出来た。

職員教育は、外部研修等への参加と勉強会を行い、介護技術や知識の向上に取り組む事が出来た。

・利用状況（定員 35 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	25	27	312
営業日数	695	677	674	706	689	658	717	664	748	635	642	697	8202
1日平均利用者数	26.7	26.0	25.9	26.1	26.5	25.3	26.6	26.6	27.7	26.5	25.7	25.8	26.3
新規利用者数	1	0	0	0	2	2	2	3	2	0	1	0	13
利用廃止者数	0	2	2	3	0	0	4	0	1	2	2	0	16
稼働率(%)												75.1 %	

・利用者の要介護度（平成 28 年 3 月末現在）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
利用者数	5	9	19	28	11	3	4	79

◆居宅介護支援事業所

個別援助計画の管理、確認から居宅サービス計画書との整合性を高めるため、個別援助計画の提出を求め、桐生園HH、DS、SS、なのはなの責任者と1回/4カ月の意見交換を行い、計画書の整合性を高め合う事が出来た。

H27年度の制度改正に伴いサービス利用に混乱がでないように利用者、関係者への説明に取り組んだ。制度改正の目的である地域包括ケアシステムの構築が2025年までに必要な中、青山学区、上田上学区の民生委員との勉強会や大津市医療関係者との「入退院支援の手引き」の作成会議への参加などを通じて地域、医療、介護の連携にも取り組んだ。

桐生園が地域に根差している所以とも言えるが、居宅と桐生園のサービスをセットで依頼されるケースが多く、特定事業所集中減算の対象となる可能性があったがH27年度は回避する事が出来た。

・利用実績（年度末時点での介護支援専門員専門員4名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
給付実績件数	106	102	98	100	104	99	101	105	110	113	108	108	1254
介護予防数受託数	19	19	19	19	21	22	20	22	21	22	19	20	243
訪問調査受託数	6	4	9	5	8	7	5	5	11	7	9	13	89

・利用者の要介護度（平成28年3月末現在、給付実績者数に基づく）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	5	17	31	51	15	10	10	139

◆訪問介護センター

外部研修で個々に学んだ事をヘルパー間で研修報告の機会を作り、学びを共有しレベルアップに努めると共に、訪問介護計画書を定期的に見直し利用者ニーズ及び自立に向けた支援の再確認を行い、ケアプランとの整合性の向上を図った。

・利用状況実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	18	19	20	20	19	20	19	22	21	20	21	21	240
延訪問回数	199	190	210	227	238	237	258	249	254	206	226	255	2,744
延訪問時間数	196	189	207	222	223	231	257	253	258	210	227	255	2,730
身体介護(%)	44.2	42.6	44.3	45.4	49.8	44.1	37.9	42.6	42.9	41.7	46.0	46.3	43.9
身体生活援助(%)	29.1	28.4	28.1	30.4	27.4	29.8	41.9	37.8	35.4	36.9	34.5	35.3	32.9
生活援助(%)	12.6	13.7	12.4	10.6	11.8	10.9	10.3	7.6	9.4	10.7	10.6	8.6	10.7
予防訪問介護(%)	14.1	15.3	15.2	13.7	11.4	14.7	9.9	12.0	12.2	10.7	8.8	9.8	12.3

・利用者の要介護度(平成28年3月末現在)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	2	2	4	6	3	1	1	19

◆グループホーム

利用者お一人お一人の“その人らしさ”を大切にされた個別活動への支援を通じて、これまでにはない喜びを届ける事が出来た反面、基礎疾患の悪化による入院、主に居室での転倒事故による入院等、稼働率は昨年比3%ダウンとなった。この結果を踏まえ、次年度は再度、居室環境の見直しを実施し、より安全に、より安心して生活して頂けるよう支援したい。

・利用実績 (2ユニット 18人 内男性0名、女性18名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	18	18	18	18	18	18	18	18	19	17	17	18	
延利用者数	533	542	518	543	521	540	558	538	532	512	499	531	6,358
1日平均利用者数	17.7	17.4	17.3	17.2	16.8	18.0	18.0	17.9	17.1	16.5	17.2	17.1	17.3
稼働率 (%)												96.5%	

- 1、入居者年齢構成
 

70～79歳	4名	最高齢者	99歳
80～89歳	4名	最年少者	71歳
90歳以上	10名	平均年齢	87.2歳
- 2、新規入居者 5名 (入居前状況：在宅 4名 医療機関 1名)
- 3、退去者 5名 (退居後状況：特養入居 2名 医療機関 2名 在宅復帰 1名)

・入居者の要介護度 (平成28年3月末現在)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
入居者数	0	6	6	4	2	0	18

◆あったかほ一む・なのはな (あったかほ一むづくり事業)

地元学区社協の協力を得て、恒例のイベント開催を実施した。それにより地域住民との繋がり、認知をより深いものとした。また、同時に事業として行う児童預かり、3時間以内の介護保険利用外のあったか利用、立ち寄り利用の実状の整理を行い、あったかほ一む事業の存続について検討を重ねた。

・利用実績：開所日数 253日 (月～金) ・1日平均来所者数 1.8 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
立寄り利用者延数	0	0	0	0	0	2	4	3	4	2	2	5	22
一時預かり児童等延数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昼食利用	0	0	0	0	0	2	4	3	4	2	2	5	22

※ その他利用者延数には、見学・ボランティア・場所利用などの人数を合算している。

◆デイサービスセンターなのはな

通所介護計画書の定期更新月を3ヶ月に統一し、利用者家族、担当ケアマネへの情報開示を行い、新規利用者獲得に向けては各事業所への空き状況の発信を行った。

小規模デイとしての細かなケアの充実のため、月1回の勉強会の実施、業務終了時だけでなく、業務開始時の確認事項の周知により事故のない運営と統一したケアを行う体制を整え、登録利用者一人ひとりの満足度に焦点を当てた。

・利用実績（定員10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	200	191	199	209	201	217	204	188	210	176	193	191	2379
営業日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	25	27	310
1日平均利用者数	7.6	7.3	7.5	7.7	7.7	7.6	7.8	7.7	8.4	7.3	7.7	7.1	7.6
新規利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用廃止者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
												稼働率 (%)	76.3 %

・利用者の要介護度（平成28年3月末現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	2	2	5	10	1	2	1	23